



校長室だより

令和6年度
10月15日
NO. 29

自分を信じ、自分と向き合い、思い切る力!



6年生最後の部活動の大会での勇姿

それぞれの自分の種目に、全力を出し切った陸上大会 新たな秦梨S.Cの第一歩 輝く

競技の前の静寂、心を落ち着けてゴールを見つめます。午前中に振っていた雨もやみ、厳しい日差しが陸上競技場に降り注ぎます。そしてスタートのタイミングで、思い切りスタート。スタンダードやテントからの応援を遠くに聞きながら、あるいは周りの音は耳に入らないまま、勝負の世界へと引き込まれていきます。

自分も小学校の陸上では幅跳びをやっていたが、緊張の中、思い切った第一歩を走りだし、タイミングを計り思い切った空へ踏み切った感覚は、今も覚えています。感覚はなかなか教えてもらって感じられるものでなく、自分で何度も感じ考えながら、最後は自分の意志で思い切らなければなりません。

今年の小学校陸上競技大会は、秦梨S.Cとしては初めてで、六年生にとっては、最後の部活動の大会となりました。大会に向け、真剣に陸上と向き合い、体の使い方を習い、何度も試してみる練習も、子供には何事にも代えがたい経験でした。大会での思い切りの力も、こうして練習や準備なしには出せません。

スポーツでは特に、タイミングと思い切りが大切です。リリースのバトンを受け取るのに走り出す一番いいタイミングと思い切り、千メートル走でのスタート時の駆け引きやスパートをかけるタイミングや力の入れ具合など、それぞれの状況の中で、自分を信じ自分で判断し、自分と戦い、思い切って走り抜きます。

全力を出すためには、当然ですが思い切らなくてはなりません。迷いは禁物です。そして思い切ったからといって結果が必ずついてくるとは限りません。考えると様々な面で、大人になると思い切ることが少なくなります。「失敗するから」「できないから」「こっちの方がリスクが少ないから」…。秋の龍北で、目の前のゴールに向かい、逃げることなく、思い切る秦梨の子供たちの姿は、清々しく、たくましく、大きく感じられました。

・10月9日(水)第62回岡崎市小学校陸上競技大会が行われました。小学校混合4×100mRは、秦梨小学校は2位の好成績でした。全員がベストを尽くしました。応援ありがとうございました。